

科目	専攻科ゼミナールII (Advanced Course Seminar II)		
担当教員	樋口 俊一, 大淵 真一, 九鬼 導隆, 渡辺 昭敬		
対象学年等	応用化学専攻・2年・前期・必修・2単位		
学習・教育目標	工学複合プログラム	B4(40%) C2(60%)	JABEE基準1(1) (d)2-a,(d)2-b,(d)2-c,(e),(f),(g)
授業の概要と方針	専門工学に関連する外国語文献を輪読する。担当部分について、その内容を説明し考察を述べるとともに討論をゼミナール形式で行う。幅広い工学分野の新しい学識を得るとともに、関連する文献を調査することにより最新技術や研究の手法について実践的に学ぶ。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【B4】無機化学、有機化学、物理化学及び応用物理の各専門分野の基本的な文献を読破し、それをまとめることができる。		各担当教員が輪読のとき英語が正しく訳され、その大筋を把握出来ているかを確認すると共に最後にレポートを提出させ授業内容の理解度を評価する。
2	【C2】無機化学、有機化学、物理化学及び応用物理の各専門分野の講読した論文の課題等を的確に把握し、それを解決する手法を理解できる。		各担当教員がレポートを提出させ、これまで学習した工学基礎や専門分野が生かされ、応用されているかなど授業内容の理解度を確認する。3 4 5 6 7 8 9 10 総合評価 演習(50%)・レポート(50%)による評価。各担当の評価を平均する。テキスト各担当が選択した文献。参考書なし 履修上の注意事項 専攻科ゼミナールIIは専攻科ゼミナールIに引き続いて行われるが、英文の講読の分野が異なるので、本科の卒業研究で英文講読の基礎となる読解力およびまとめ方の技術を学習しておくことが重要である。
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	演習(50%)・レポート(50%)による評価。各担当の評価を平均する。		
テキスト	各担当が選択した文献。		
参考書			
関連科目			
履修上の注意事項	専攻科ゼミナールIIは専攻科ゼミナールIに引き続いて行われるが、英文の講読の分野が異なるので、本科の卒業研究で英文講読の基礎となる読解力およびまとめ方の技術を学習しておくことが重要である。		

